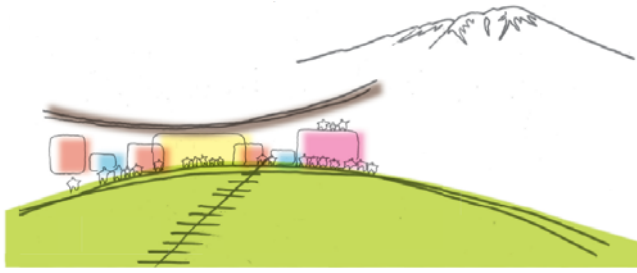


みんなで作る

ふれあいの大屋根

“滝沢村交流拠点複合施設”

住民が集う場として、大屋根の下、麓に出来た集落のように顔を出す様々な交流施設がにぎわいをつくれます。



ROOF NEWS Vol.7

※屋根の英単語 ROOF をとり、タイトルとしました。

平成 25.9.13 滝沢村 (交流拠点整備室)

ROOF1 第5回のワークショップ(全体会)が開催されました

滝沢村の鶉飼地区に計画されている交流拠点複合施設の検討ワークショップ(全体会)第5回が7月22日に、滝沢村公民館大ホールにて行われました。

実施設計開始に先立ち、基本設計の最終プラン・最終仕様について、確認、協議を行いました。

ROOF2 ワorkshopのかたち(全体会)

今回の全体ワークショップでは、これまで5月・6月に3つの作業部会でそれぞれのパートについて議論を積み重ねてきた部分について、全体部会で情報の共有を行い、更に各部会から意見を聞きました。

ROOF3 第5回検討ワークショップ(全体会)の概要

第5回全体会では、これまでの議論を踏まえた配置平面案としてL-5案が提示され、各部会の指摘等に対する修正項目を中心に説明がなされました。大ホールに関しては、ホール座席や舞台機構の詳細、音響設備や舞台関連の備品、新たな移動観覧席計画の提示が行われ、図書館に関しては、各コーナーごとに設置される家具のイメージや床材など、それ以外の各部屋については、防音などの仕様や家具のタイプなどについて細かな説明がなされました。最後に今後の実施設計のスケジュールを確認しました。

計画案の内容は、概ね了解され、今後、詳細設計に進むことが確認されました。コーディネーターの三宅諭先生(岩手大学)と建設推進委員長・狩野徹先生(岩手県立大学)からも今後の実施設計を進める上での配慮事項などのご意見をいただきました。



第5回ワークショップの様子



狩野徹先生(左)と三宅諭先生(右)からの意見

ROOF4 ワークショップ結果概要

ホール部会

ホール部会からは、小ホールやホワイエでイベントを行う際、移動式でもよいので必要最低限の音響・照明等の設備は必要ではないかといった意見が出されました。

図書館部会

図書館部会からは、小会議室をバンド利用する際のドアの開閉時の音漏れの心配やアンプや機材を備品として用意しておくべきではないかといった意見が、また図書館事務室内の間仕切り位置の確認やBM洗車場を確保して欲しいといった要望などが出されました。

コミュニティ部会

コミュニティ部会からは、外構計画について、駐輪場位置は図書館に近い方が良い、屋外スピーカーは防災広場からも聞こえるように、敷地内道路で自動車がスピードを出さない工夫を、足洗い場の設置を、といった意見や、ホールの移動観覧席の椅子の座り心地や移動席を動かす場合の時間についての質問がありました。

ROOF5 講評

三宅諭先生（岩手大学）より

コーディネーターの三宅諭先生からは、コストに関係する2点のアドバイスがありました。一つ目は、この施設のみで必要なものをすべて用意することだけを考えずに、備品等を他施設と連携して効率的に使う方法も考えるべきであること、二つ目は、建物は最初にかかる建築費用よりも、むしろ将来の維持費用の方が多くかかるので、維持管理を十分に考えた方向で建物計画を行っていくことが重要であるという意見を頂きました。

狩野徹先生（岩手県立大学）より

建設推進委員長の狩野徹先生からは、今後は実施設計に入り、より詳細な検討がなされることになるが、最後の詰めが重要なので、建設コスト・維持コストも踏まえた上で、十二分に詰めて欲しい、事務局もそのための資料をそろえてほしいとの話を頂きました。

ROOF6 まとめ

次回からは第3フェーズ、「住民が利用しやすく、また管理しやすい施設」に向けて、詳細部分の検討を進めます。

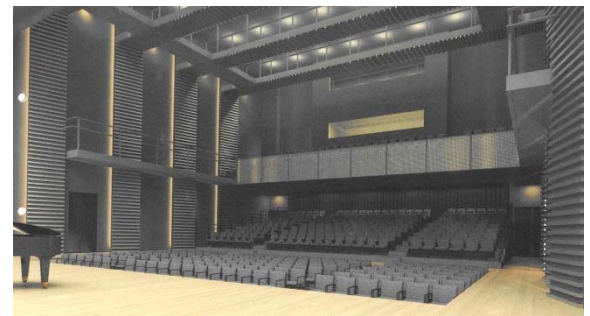
引き続き、検討過程をROOF NEWSでお知らせしていきますので、よろしくお願い致します。



ワークショップの様子
(委員からの質問)



第4回全体会ワークショップの結果



提示資料より
ホールイメージ（上）と図書館イメージ（下）

